

中子連主催トスベースボール大会における競技ルールを以下の通りとする。

【大会ルール】

- 参加チームをブロックに分け、各ブロックで予選トーナメント戦を行う。
⇒ 予選トーナメント戦では、最終イニングで後攻チームが10点差以上で負けている場合でも攻撃を行う。
- 各ブロックの優勝チームは決勝トーナメント戦を行う。
⇒ 決勝トーナメント戦では、最終イニングで後攻チームが10点差以上で負けている場合は攻撃を行わない。
- 1試合2イニング制とする。
⇒ 各トーナメントの**決勝戦のみ**、3イニング制とする。
- 試合終了時点で同点の場合は監督による抽選で勝敗を決定する。
⇒ 抽選順は先行・後攻の順とする。
- 打撃、守備共に1チーム10名とする。
⇒ お母さんの1試合の出場人数は2名以上3名以内とする。
⇒ 登録名簿の選手(子ども)は、必ず試合に出場させること。
- 同一イニング内(打撃および守備)のメンバー交代はできない。

【グラウンドルール】

- 塁間は18mとする。
- ホームベースを中心に3mのホームサークルのラインを引く。
⇒ ホームサークル内に止まった打球はファールボールとする。
- ホームベースから9mに守備禁止エリアのラインを引く。
⇒ 打者が打つ前の守備を禁止するエリアであり、打った後の守備は可能とする。
- 各塁に2mのリードラインを引く。
- バッターボックスは学童野球のサイズに準ずる。
- 1塁ベースはダブルベースとする。

【試合ルール】

- 攻撃はアウトカウントに関係なく、1イニング1番から10番のゼッケン順で打席に入る。
- 盗塁・バントは禁止とする。(盗塁・バントした場合はアウト)
- マシンからの投球は全てストライクカウントとなり、3球以内にフェアゾーンに打たない場合は打者はアウトとする。(3球目がファールでもアウト)
- 打球がマシンに当たった場合はファールボールとする。
⇒ 送球がマシンに当たった場合はインプレー(プレー継続)とする。
- インフィールドフライの宣告はしない。
- コーチーズボックスへはコーチ(大人のみ)も入ることができる。
- 走者の離塁はリードラインまでとする。
⇒ 打者が打つ前にリードラインを超えた場合は走者をアウトとする。
- 走者は球審が笛を吹いた後の進塁はできない。
- 走者のスライディングは禁止とする。
- 打者走者および走者の各塁の駆け抜けを認める。
⇒ オーバーランした場合にタッグをしてもアウトにならない。
- 送球がボールデッドゾーン(ホームサークル以外)に入った場合は走者に2つの進塁を認める。
⇒ 最終打者のプレーでボールデッドゾーンに入った場合はインプレー(プレー継続)とする。
- ボールデッドはホームサークル内で野手がボールを完全捕球、またはボールを捕球した野手がホームサークル内に到達した場合とする。
⇒ 球審が笛を吹くまではインプレー(プレー継続)とする。
⇒ 打者走者が1塁へ到達する前にボールデッドとなった場合は打者走者をセーフとする。
⇒ フォースアウトが成立する走者が次塁へ到達する前にボールデッドとなった場合は走者の進塁を認める。
⇒ 走者がボールデッド時点でホームサークルに到達している場合は得点として認める。
⇒ 走者がボールデッド時点でホームサークルに到達していない場合は前塁へ戻す。
但し、満塁時の3塁走者がホームサークルに到達していない場合は3塁走者をアウトとする。
- 最終打者(10人目)の打球が飛球となった場合に野手が捕球した時点で攻撃終了とする。